

鬼怒申だより

第8号



令和5年 3月24日
発行者 校長 柿沼 靖雄

生徒信条 ～ 自ら判断し，実行し，責任を持とう ～

第41回 卒業証書授与式

令和5年3月13日（月）、第41回卒業証書授与式が厳かに行われ、卒業生196名が本校を巣立っていきました。本年度は3年ぶりに、宇都宮市教育委員会・宇都宮市議会のご臨席を賜るとともに、PTA会長様・地域協議会長様にもご出席いただきました。コロナ禍のため本年度も在校生の参列は見合わせましたが、ご来賓からの祝辞をいただいたり、国歌・式歌・校歌を歌うことができたり、例年に近い形での実施となりました。卒業証書を手渡す時、一人一人に小さな声で「おめでとう」と声をかけましたが、「ありがとうございます」と目を見て力強くうなずいてくれる生徒が多く、とても頼もしく感じました。在校生代表として参加した郷間莉々香さんの送辞は、非常に落ち着いた態度で先輩への感謝と後輩としての決意を述べ大変立派でした。北川夏楓さんの卒業生答辞は、中学校3年間でたくさんの思い出と多くの経験ができたこと、そして周りの人への感謝とともに、これから先の未来をしっかりと見据え進んでいこうとする決意にあふれ、とても感動的でした。卒業生全員のこれからの幸せと活躍をお祈りいたします。



レクリエーション大会

3月14日（火）に2年生が、3月20日（月）に1年生が、それぞれ学年レクリエーションを実施しました。短い時間ではありましたが、生き生きと活動し、充実した時間を過ごしました。校庭から生徒たちの元気な歓声が聞こえ、ようやく学校らしい雰囲気に戻ってきたと感じました。

2年生



1年生



『ポイ捨て禁止』啓発看板・除幕式

2月15日（水）に本校生徒会が全校生徒からスローガンを募集し、それを美術部がデザインした『ポイ捨て禁止』看板が新4号国道寺内交差点付近に設置されました。リニューアルした看板はとてもカラフルで、ドライバーの目を引くこと間違いなしです。子供たちの呼びかけは、きっと大人の心に届くはずです。



ご挨拶

先日卒業した生徒たちは、新型コロナウイルス感染症が拡大を始めた時に入学した生徒たちです。先輩も来賓も保護者さえ参列できない中で入学式を迎え、その後は2か月間の学校休業。日常生活に様々な制約がかけられると共に、授業や学校行事にも大きな影響があったまさにコロナ禍の3年間でした。本日、令和4年度の修了式を実施いたしました。1週間後には新しい年度がスタートします。4月1日から学校生活におけるマスク着用や授業の実施等について緩和される方向であるとともに、GW明けからは、いよいよ新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類へと移行します。新年度はようやく通常の学校生活が戻ってきます。どんな生徒の姿が見られるのかとても楽しみです。

今年1年間の本校教育に対するご理解とご支援、誠にありがとうございました。

*学校HPにはカラー版が掲載されています。ぜひ、そちらもご覧ください。